

第3回建設専門工事業合同体験フェア ～作って確かめよう！ あなたの未来～

平成30年11月12日(月)9時～16時

オアシス21 栄広場

建設産業専門団体中部地区連合会

報告者:事業本部長 伊藤順一

建設産業専門団体中部地区連合会(建専連中部)

設立:平成15年11月

会員:22団体

事業内容:

- ・建設専門工事業に係る情報収集並びに研修会等の開催
- ・建設専門工事業の社会的経済的地位の向上に関する啓発、宣伝
- ・官公庁その他関係機関に対する要請、意見具申、協力、意見交換
- ・その他本連合会の目的を達成するために必要な事業



合同体験フェア実施について

担い手確保・育成に向けた取り組みとして平成28年より実施

実績: **第1回目(平成28年5月31日): 参加者約50名**

2職種(型枠・内装)の体験ブース及び8職種の説明ブースを設けて実施

第2回目(平成29年5月31日): 参加者約330名

7職種(とび土工、型枠、鉄筋、内装、左官、タイル、DC)の体験ブース
及び5職種の説明ブースを設けて実施

(第1回、第2回ともにH29年度に廃止されたコンソーシアム助成を利用して
中部圏担い手ネットワーク協議会として実施)

第3回合同体験フェア実施について

目的: 若年の担い手確保、定着促進

建築・土木の世界を支える様々な建設技能者を一堂に集め、

名古屋・栄に明日を担う若者たちが集う公開実習体験の場を開設

- ①非日常的な迎え方で高校生の入職モチベーションを喚起
- ②担い手育成の取り組みの本気度をアピール
- ③学生、教師、保護者を含め社会に建設業界を公開し、親世代の理解を促進

第1回WG(5月21日)～第8回WG(12月10日)

延べ参加人数240名

当日役割責任者69名 他多数

第2回WG 下見

早朝5時より搬入～
8時朝礼に向け全員
で準備に余念がない



合同体験フェア実施報告

開催場所: オアシス21 銀河の広場(メイン会場)
栄広場 (場外会場)

スケジュール

8:30~8:45 オープニング

9:00~16:00 実習体験



【学生を激励する河村市長】



【ステージ実習 (タイル)】

飛び込みマイク	
8:30	オープニング
ステージ実習	
9:30	塗装実習
11:00	左官実習
12:30	内装実習
14:00	タイル実習
9:45	飛び込みマイク
建設専門工業系 合同体験フェア	

出展団体(12団体)

職種: 型枠、鉄筋、とび土工・土木、
内装、タイル、PC、塗装、
左官、圧接、カッター、
クレーン、重機

地元ラジオ局「飛び込みマイク」
NHK名古屋テレビ他にも特集

合同体験フェア実施報告

【メイン会場】
オアシス21・銀河の広場



【鳶】



【鳶: ハーネス体験】



【型枠】



【鉄筋】



【左官】

合同体験フェア実施報告

【屋外会場】栄広場
147名の方に、4職種全て
体験していただきました



【クレーン】



【ダイヤモンドカッター】



【圧接】



【重機】



【高校生に交じって見学
する下校途中の小学生】

合同体験フェア実施の効果

参加校(参加人数)

- 大垣工業高等学校(42名)
- 浜松工業高等学校(42名)
- 名古屋市立工芸高等学校(40名)
- 名古屋工業高等学校(80名)
- 名古屋高等技術専門校(26名)
- 東三河高等技術専門校(10名)

合計240名

【参加学生及び先生の声】

- ◎学校ではできない経験ができる
- ◎生徒の生き生きとした表情が印象的
- ◎進路を前向きに考える良い経験になっている
- ◎本当に楽しそう。これだけの専門工事を体験できる場はなかなかない
- ◎教育現場では「プロ」の技術指導はとてもできない
- ◎面白い、本格的にやってみたくなった

触って感じたことがエネルギーなる！